



自 己 評 価 結 果
(2024 年 度)

(2025. 5. 31)

学校法人川原学園
東京動物専門学校

目 次

1. はじめに	2
2. 学校概要	2
3. 教育活動	3
4. 学業成果	4
5. 学生支援	5
6. 教育環境	6
7. 学生募集	7
8. 財務	8
9. 地域貢献・地域連携	8
10. 表	
表1 2024/2023年度卒業生就職状況	
表2 2024年度中に学校主導で取得した資格	
表3 過去5年間の自主退学者数と退学時期	
表4 学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数	
表5 八千代キャンパス学生利用施設	
表6 富里キャンパス主要動物舎	
表7 富里キャンパス教材動物	
表8 検査用設備及び備品	
表9 財務消費比較表（5カ年）	

1. はじめに

東京動物専門学校は、1987年東京都三田に東京動植物専門学院としてスタートし、1990年3月千葉県知事より設置認可を得て、学校法人川原学園、東京動物専門学校として開校し、同時に千葉県八千代市に八千代本校舎、富里市に富里実習施設を設置し、動物管理技術者を養成する専門学校として今日に至っております。

学校創設から30有余年が経過し、多くの卒業生が北海道から九州沖縄まで全国各地の動物園や水族館をはじめ、多くの動物関連施設にて働いております。

また、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する制度の新設に伴い、本学も2014(平成26)年3月にその認可を受け、職業教育やキャリア教育の充実に努めております。次の通り、最新の学校情報について公表いたします。

新型コロナウイルスも2023年には5類に移行したが、現在でも学生間で散発的に発生しており、今後とも何時起きるかもしれない感染症に対応すべき、予防対策は継続し実施いたします。

2. 学校概要

(1) 校訓

東京動物専門学校の校訓は「心・知・技・体」です。これは、動物管理技術者に必要な仕事、または動物に対する正しい考え方(心)、最小限必要な知識(知)、基本的な技術(技)、及び健康な体(体)をバランス良く兼ね備えた技術者を育成することです。このうち、学校の授業で教授できるものは「知」と「技」であり、「心」と「体」は2年間の学校生活を通じての様々な体験より身に付くものであると考えております。

(2) 学校の歩み

① 学校誕生

東京動物専門学校は、川原鳥獣貿易株式会社が母体です。初代理事長川原義郎は、全国の動物園や水族館からの要望に応じて世界中から動植物の調達等を取り扱ってきました。その仕事を通じて、これらの動物の飼育現場には、動物に対する正しい知識と技術をもった人材がますます必要になると感じ、動物の飼育や看護の専門技術者を養成する学校を設立した次第です。

② 学校の概要

名称 学校法人 川原学園 東京動物専門学校
住所 〒276-0046
千葉県八千代市大和新田1093番8号
TEL 047-459-0511 (代)
フリーダイヤル 0120-010520

沿革	1987年 4月	初代理事長の川原義郎が東京都三田に東京動植物専門学院を設立し、開校
	1989年 12月	八千代本校舎完成
	1990年 2月	富里実習施設完成
	1990年 3月	千葉県知事より専修学校の認可を得て、学校法人川原学園を設立し、東京動物専門学校と校名を変更
	1990年 4月	東京動物専門学校開校
	1992年 3月	本校新校舎完成
	1993年 4月	学科を統合し、コース制を導入
	2014年 3月	文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受ける
	2015年 4月	東京動物専門学校 動物管理科 各学年 140名に学則変更
	2018年 12月	富里キャンパスに、講義棟新設
	2024年 8月	千葉県知事より愛玩動物看護師法に基づく養成所として指定される。
	(2025年 4月)	愛玩動物看護師養成コース設置予定)
課程	動物管理専門課程	動物管理科 動物飼育技術者コース

3. 教育活動

(1) 教科数、体系と目標

授業教科は2年間、49科目数、87単位で構成されております。2年間での総授業時間 2451 時間で、内講義は 945 時間、実習は 1506 時間。詳しくは、職業実践専門過程の基本情報をご参照下さい。

2016年より1学年を対象に、上野動物園・多摩動物公園・葛西臨海水族園を専門講師の案内による特別案内授業を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により団体入場不可などのため、特別案内の対象園館を変更しながら継続した。しかし、2023年度に引き続き、国内の代表的な都立園館である上野動物園・多摩動物公園・葛西水族園の3園館で実施した。更に、学外見学は10月に富士サファリと富士花鳥園、翌日に静岡市立日本平動物園を、最終日には八景島シーパラダイスを、各班課題を持ちながら、グループ別で行動・見学を実施した。なお卒業生からの直接講義や説明を受け、進路決定の手助けになるよう、就職を目指した活動とすると共に、見聞も広めることが出来たと思います。

次に、施設研修（インターンシップ）は、2年次後期に実施しており、全員施設研修を終えました。職業教育協定書(事業契約契約書)を締結した事業者のもとで、基本

は4週間(総時間数182時間)の動物飼育実習分野における実践的な職業教育を受けることになり、就職に直接結び付いたケースもありました。12月には、来年度研修を経験する1年生を前にして、62施設延べ86名がパワーポイントを使用し「施設研修発表会」を行った。

(2) 資格試験 (各種資格)

潜水士/ダイビング、危険物取扱者(乙種)及び赤十字救命法救急員講習会、玉掛け技能講習、刈払い機取り扱い作業者について、取得方法の指導、試験についての相談、アドバイス等、資格取得講座を開設し希望者には受講させています。

(3) 教職員

2024年(令和6年)5月1日現在の教職員数は33名です。

教員数 29名(本務 12名 兼務 17名)

職員数 4名(本務 4名 兼務 0名)

4. 学業成果

(1) 就職指導

① 就職指導の方法

本校での就職指導は、大別して3つの方法で行っております。

第一の方法は、全体指導です。1学年に入学した時点から、全学生に「就職のしおり」を配布すると同時に、教育課程の進行状況に合わせて就職に対する準備の方法を指導しております。

第二に「就職ガイダンス」という就職窓口を、学生課が週1回の割合で授業時間を設け、個人的に就職の相談に応じております。

第三は、2学年後期(実践段階)に行われる施設研修です。学生が具体的にその施設の内容を理解し、時には就職を希望する施設(企業)を決定し、学校が職業教育協定書の締結及び研修の申し込みをし、許可取得後、約4週間にわたって研修・実習するものです。

また研修終了後、全学生と教職員にその成果を報告する発表会を約1週間にわたり開催し、研修施設の情報を全校で共有しています。

専門学校での学びとは、就職することに直接結びつけることであり、就職指導は最も重要な業務です。さらに、学生には専門知識・技能を学ぶことの大切さを絶えず教示しております。

② 就職状況

表1に2024(令和6)年度35期卒業生の就職状況を示しました。2024年度卒業86名(就職希望者83名)で就職内定者は83名(100%)です。(2025年3月31

日現在)

就職先は動物関連外 2 名を除き、81 名は動物関連業種であり、動物園、水族館 29 名 (35%) (前年 47 名 (47%)) と前年に比し人数・割合共に大幅な減でした。酪農畜産関係は 10 名 (12%) (前年 6 名 (7%)) と前年比、大幅な増でした。観光牧場等施設 13 名 (16%) (前年 7 名 (7%)) と 2 倍増。ペット販売業 6 名 (前年 5 名)、実験動物・研究施設は 10 名と (前年 9 名) と人数は前年並みでした。

公立動物園として東京動物園協会(上野、多摩)5 名、横浜市緑の協会 2 名の合格者で、地方の動物園として長野茶臼山、とくしま動物園など。また民間動物園として那須どうぶつ王国、東武動物園、群馬・富士・東北サファリなどが主な就職先です。

(2) 資格取得状況

表 2 に 2024 年度の学校主導で取得した資格状況を示しました。大半の資格は 1 学年次に取得しておりますが、一部の学生は 2 学年次に取得しております。また例年実施している民間資格の赤十字救急法救急員の講習会は、1 学年次全員が 2025 年 1 月末に受講し全員が合格しました。当校の特色として玉掛技能や刈り払機講習などがあり、これらの技能は就職後即役立つ技能です。

(3) 自主退学者の状況

表 3 に 2020 年より 2024 年までの 5 年間の学年次別、学期別に自主退学者数と退学率をまとめました。2023 年度入学生では、1 学年次 10 名、2 学年次 3 名で合計 13 名であり減少したが、学生数が減少しているため、退学率は例年並みの 13%でした。2024 年度入学生では、1 学年次が 4 名と大幅に減少した。

また、退学要因は個人により様々ですが、進路変更も大きな要因であり、入学前の説明会などでしっかりと当学校の特徴を説明し、納得した上での入学を進めておりますが、退学者の発生防止はなかなか困難ですが、一層の努力は必要です。

5. 学生支援

(1) 学生相談

表 4 に、学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数を 2023 年度 2024 年度と並列して示しました。

総相談件数のほぼ半数を占める「出欠席」について、1 学年、2 学年とも前年よりも減少しました。また次に多い「定期試験」に関しては、1 学年で前年並み、2 学年では減少した。

私生活関係では 1 学年に健康面での相談が多いのが特徴ですが、今年度は前年の 2 倍の 20 件と多く、その内用の詳細ですが、持病やそれに類するものが、かなり多

いのが特徴で、学生課の職員が主に対応しておりますが、難しい事例が多いのが現状です。

(2) 経済支援

独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度

公的な奨学金制度を学生に紹介するとともに、懇切丁寧に相談に対応し、経済的な面からの強力な支援に努めています。なお、支援機構などを利用できない場合も、若干見られますが、オリコ等のクレジット会社や、居住地の市町村独自の援助制度の利用など、について、アドバイスしております。

6. 教育環境

(1) 八千代キャンパス及び学生利用施設

講義による知識の習得の場としての八千代キャンパスは、1989年（本館）及び1992年（新館）に建設され、教室の面積によりコース別講義室（本館）と学科講義室（新館）に分かれております。

また学生利用施設として、自習施設（図書室）、福利施設としての学生ホールも備えている。詳細の面積等については、表5に示しました。

数年前に学生数増加の際に、教室内に大型TVを設置し、映像による講義の効果を高めており、学生には好評です。

(2) 富里キャンパス

表6に富里キャンパスの主要動物舎面積を示しております。主要動物舎は第1号より第22号まで22棟あり、そのほかに放飼場、馬場、馬放飼場、付属農園があります。これらの動物舎は、本校の学生が動物舎の構造を実際に理解できる目的で、学生等の実習を兼ねながら手造りしたものが多く、体験実習の成果であります。また展示施設ではなく、あくまでも飼育施設であり、動物福祉に配慮した構造としております。

表7には、富里実習施設において飼育している教材となる動物を、哺乳類から鳥類、は虫類、両生類、魚類まで215種類1,439点（2025年3月末）動物園や水族館等で飼育されているような多くの動物が実習に供されています。

(3) 実習用設備及び備品

主要実習設備及び備品を表8に挙げました。基本的な備品の整備に努めています。

(4) 防災対策

7月に八千代キャンパスにて、八千代市消防署の協力を得て、火災防災訓練、12

月には地震防災訓練を学生及び教職員全員を対象に、実施いたしました。

7. 学生募集

(1) インターネットでの情報提供

ホームページは、高校生にとって、その学校の情報を得たり、知る上で、年々、その重要性がアップしてきており、最も力を入れている学校紹介になっています。学校の教育方針から始まり、施設案内や、学べること、キャンパス紹介、卒業生の活躍、オープンキャンパス案内、最新情報ブログなど内容は、随時最新の情報に更新しております。また資料請求や問い合わせもウェブ上でできるようになっております。

また東京動物専門学校案内を 2024 年度版は『夢を夢で終わらせたくない、キミへ。』を作成し、今までの学校案内とは内容を革新し、『夢を叶う！「好き」を仕事にがんばる卒業生たち。』といった具体的に夢を叶えた卒業生などを紹介し、更に、カリキュラムや飼育・施設研修内容、就職情報等を満載しております。近隣の高等学校に配布し、また資料請求に基づき希望者には送付しております。

(2) オープンキャンパス

① 学校説明会

八千代キャンパスで開催し、学校及び学校生活全般の説明をしており、入学試験、学費、就職などの多くの各種質問も受けています。

また校舎内外の見学も併せて実施し、学校内容を十分に理解、納得した上で試験に臨むよう入学希望者に説明しています。この説明会は、3月から2月まで土曜日に計18回開催し、344名が参加した。

② 体験入学（実習体験）

富里キャンパスで実施している飼育実習の一部、動物のエサづくりやエサやり、また、乗馬などが体験できます。この体験入学は、5月から7月の日曜日に10回開催し、314名が参加した。

③ 施設見学

施設見学は富里キャンパスで開催し、放飼場や動物舎をご案内いたします、富里キャンパスでの学生生活を想像していただけます。4回の予定が、鳥インフルの影響のため、3回の開催となりました。

④ 授業見学

八千代キャンパスにて実際に学生が学ぶ様子を見学するもので、学校の雰囲気を感じることが出来ます。また休憩時間には、在学生と話すこともでき、若者同士による情報交換の時でもあります。授業見学は月～金曜日まで事前予約にて受け入れており、参加者は10名でした。

(3) 高等学校(ガイダンス)訪問

全国の約 6500 高等学校の内、約 4635 校に学校案内書を送付し、その内関東圏には約 1618 校あります。また、庶務課や学生課の職員が手分けして約 300 校を訪問し、進学担当者などに直接面会し、学校案内書などを利用し情報提供するとともに、学生の進路相談時の学校紹介などについて依頼しております。

8. 財 務

表 9 に財務消費比較表にて 2020 年度より 2024 年度までの過去 5 カ年分を示しました。2021 年より 2024 年まで定員に対する在籍者数は 100%を割り、そのため事業収入も減少しています。入学者の減少は、直接、教育内容に大きな影響を与える。特に、2023 年度は、全国各地からの大幅な入学希望者の減少があった。それはコロナの影響で、一時的なものと思われたが、翌 2024 年度の入学者も減少しており、まだまだ予断は許せない状況です。

学校経営は、大半が固定的経費です。今後共、経年劣化する建物の維持管理費の捻出のためにも、経費の節約も大切なことですが、入学者確保が最重要課題です。

9. 地域貢献・地域連携、その他

(1) 学校祭

2024 年 9 月 20 日から 22 日までの 3 日間、八千代キャンパス及び校庭にて第 36 回学校祭を開催した。新型コロナの 5 類移行で規制はなくなり、コロナ以前の規模での学校祭となり 3 日間で 10,012 名の前年並みの参加者を得ました。2 年生より 1 年生への伝承、継続のため、開催することが必要と考え実施しております。地域住民をはじめ、保護者の家族や卒業生が誘い合って来場し、楽しんでいる様子を毎年繰り返しており、学校祭の果たす役割の大きさを感じています。夏休みを返上し、また夜遅くまで準備など学生にとって負担も大きいですが、2 年間の学生生活の一番の思い出となるとともに、地域の人々に一層喜ばれるよう地域貢献を継続していきます。

(2) 新型コロナウイルス感染症のその後の対策

新型コロナ感染症が、2023 年 5 月には感染症 5 類に変更され、自主的な予防対策のみとなりました。しかし今後とも、感染症対策を本校の最重要事項として位置づけ、様々な授業を通して学生には正しい知識を与え、新興感染症はもとより、様々な感染症に対応していく所存です。

表1：2024/2023年度卒業生就職状況

2024年度 卒業生就職状況

2025年 5月31日現在

卒業生数：86名
 就職希望者数：82名
 就職者数：82名
 就職率：100%

主な就職先

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動物園	47	96	25
水族館	15	33	4
観光施設	18	32	13
馬育成・管理	9	13	2
酪農・畜産	35	90	10
実験動物・研究施設等	12	54	10
動物病院	25	35	0
愛玩系動物販売	18	68	6
動物訓練	6	24	0
動物ふれあい施設	6	13	7
その他動物関連	12	35	3
動物関連外	2	2	2
総合計	205	495	82

動物園 (小規模動物園含む)	恩賜上野動物園(*)、多摩動物公園(*)、井の頭自然文化園(*)、野毛山動物園(*)、長野市茶臼山動物園(*) とくしま動物園(*)、東北サファリパーク、那須どうぶつ王国、群馬サファリパーク、東武動物公園、富士サファリパーク、伊豆シャボテン動物公園、伊豆アニマルキングダム 淡路ファームパークイングランドの丘 (公財)ハーモニイセンター、(株)どうぶつ村
水族館	鴨川シーワールド、八景島シーパラダイス 伊勢シーパラダイス、しまね海洋館
観光施設	那須千本松牧場、南ヶ丘牧場、りんどう湖ファミリー牧場 磯沼牧場、マザー牧場、まかいの牧場、ひるがの高原牧歌の里 のまうまハイランド
馬育成・管理	ノーザンファーム、美馬森八丸牧場
酪農・畜産	(株)安立ファーム、(株)悠牧舎、(株)おじま自然農園 國分農場、土佐農場、皆川牧場、サンリーフファーム(株)
実験動物・研究施設等	東京慈恵会医科大学、(株)JTクリエイティブサービス (株)ケー・エー・シー、東京ビジネスサービス(株) (株)N A S 研究所、(株)アニマルケア
愛玩系動物販売	東葛ペット、C O O & R I K U、アクア&ペットかねだい ハートフルペット、(株)豊商事
動物ふれあい施設 (屋内施設)	アニタッチ東京ドームシティ、アニタッチアクアシティお台場 鳥のいるカフェ、(株)MOFF、KABAZOO ねこのす動物保護施設
その他動物関連	NPO 法人東京キャットガーディアン、川原鳥獣貿易(株)

(*)印は、契約社員等又はアルバイト契約(更新条件付) 東京動物専門学校

卒業生数 : 105名
 就職希望者数 : 102名
 就職者数 : 102名
 就職率 : 100%

主な就職先

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動物園	53	111	38
水族館	24	37	9
観光施設	12	28	7
馬育成・管理	6	58	2
酪農・畜産	34	91	6
実験動物・研究施設等	8	45	9
動物病院	44	55	3
愛玩系動物販売	12	60	6
動物訓練	9	20	3
動物ふれあい施設	6	12	7
その他動物関連	13	46	4
動物関連外	6	8	8
総合計	227	571	102

動物園	長野市茶臼山動物園、飯田市立動物園(*)、東京動物園協会[恩賜上野動物園・多摩動物公園・井の頭自然文化園](*)、えどがわ環境財団、横浜市緑の協会[よこはま動物園ズーラシア](*)、智光山公園こども動物園(*)、あらかわ遊園、浦安市交通公園、那須どうぶつ王国、那須ワールドモンキーパーク、那須サファリパーク、宇都宮動物園、群馬サファリパーク、東武動物公園、富士サファリパーク、伊豆アニマルキングダム、伊豆シャボテン動物公園、富士花鳥園、大内山動物園、姫路セントラルパーク
水族館	仙台うみの杜水族館、マクセルアクアパーク品川(*) すみだ水族館(*)、しながわ水族館(*)、葛西臨海水族園 鴨川シーワールド、幼魚水族館、琵琶湖博物館
観光施設	鷹山ファミリー牧場、南ヶ丘牧場、マザー牧場、東京ドイツ村
馬育成・管理	ホーストレッキングファーム三浦海岸、NPO法人ホース・トラスト
酪農・畜産	サンハイファーム、(有)瑞穂農場、(有)ブライトピック (株)ブッチャーファーム、(株)安立ファーム
実験動物・研究施設等	京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ 東京慈恵会医科大学、(株)ジェー・エー・シー (株)ケー・エー・シー、(株)エーテック、三協ラボサービス(株)
動物病院	豪徳寺なみき動物診療所、21動物病院、いしじま動物病院
愛玩系動物販売	ペットの専門店コジマ、インコ・オウム専門店こんぱまる (株)フローエンス、(株)SAGトレーディング COO&RIKU
動物訓練	(株)鷹匠、(有)関空ペット、(株)KANADE高柳犬舎
動物ふれあい施設	(株)MOFF、ラブリー・アニモア、Dog Cafe Florence ねこのす動物保護施設
その他動物関連	NPO法人TSUBASA、川原鳥獣貿易(株)

(*)印は、契約社員等又はアルバイト契約(更新条件付)東京動物専門学校

表 2 : 2024 年度中に学校主導で取得した資格

資 格 名	国家資格 民間資格	の区別	取 得 者 数 (人)	
			1 学年次学生	2 学年次学生
危険物取扱免許 (乙種)	国		25	2
潜水士	国		26	0
赤十字救急法救急員(※)	民		84	0
玉掛け技能講習	国		84	0
刈払い機取り扱い作業者	国		79	0
			298	2
		合 計	300	【2023年度 316】

表 3 : 過去 5 年間の自主退学者数と退学時期

入学年度	入学者数	退学者合計 (退学者の入学者 に対する割合%)					単位 (人)
			1 学年前期	1 学年後期	2 学年前期	2 学年後期	留年者
2020年	149	24 (16.1)	10	11	2	1	特別コース1名
2021年	148	24 (16.2)	4	12	3	5	特別コース1名 退学1年後期
2022年	124	18 (14.5)	8	8	1	1	
2023年	99	13 (13.1)	4	6	2	1	
2024年	85	4 (4.7)	0	4			

表4：学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

内 容	学 年	1 学年 (件)		2 学年 (件)	
		2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
学校関係					
学校生活全般		2	0	0	5
進路変更		3	3	1	4
友人関係		3	1	0	9
出欠席		78	54	76	49
定期試験		72	76	45	18
学外研修		0	0	0	0
私生活関係					
健康		10	20	0	0
私生活全般		1	2	0	0
将来への不安		1	0	0	0
合 計		170	156	122	85

表5：八千代キャンパス学生利用施設

校舎	用途	名称	面積 [m ² (坪)]	備考
本館	コース別講義室	102教室	60.75 (18.37)	
		201教室	60.75 (18.37)	
		301教室	60.75 (18.37)	
		302教室	60.75 (18.37)	
新館	学科講義室	103教室	60.325 (18.28)	
		203-1教室	120.65 (36.49)	203-2教室と合わせて、 教室として使用可。
		203-2教室	120.65 (36.49)	同上
		303教室	279.30 (84.48)	
			33.77 (10.21)	
	自習施設	図書室	蔵書数 (2024年3月31日現在) 2,029 冊	
新館	福利施設	学生ホール	112.825 (34.09)	

表6：富里キャンパス主要動物舎

名称	面積 [m ² (坪)]
第1号 動物舎	167.20 (50.58)
第2号 動物舎	109.50 (33.12)
第3号 動物舎	193.90 (58.65)
第4号 動物舎	281.40 (85.12)
第5号 動物舎	182.60 (55.24)
第6号 動物舎	270.00 (81.68)
第7号 動物舎	236.00 (71.39)
第8号 動物舎	132.20 (39.99)
第9号 動物舎	132.20 (39.99)
第10号 動物舎	207.70 (62.83)
第16号 動物舎	67.50 (20.42)
第17号 動物舎	34.00 (10.29)
第18号 動物舎	32.40 (9.80)
第21号 動物舎	50.80 (15.37)
第22号 動物舎	20.90 (6.32)
牛舎	64.80 (19.60)
放飼場	3,300.00 (998.25)
馬場	2,000.00 (605.00)
馬放飼場	2,067.00 (625.27)
付属農園	17,088.00 (5,169.12)
合計	26,638.10 (8,058.03)

表7：富里キャンパス教材動物

綱	種	点数
哺乳	82	648
鳥	114	746
ハ虫	18	41
硬骨魚	1	4
合計	215	1439

(2025年3月末現在)

表8：検査用設備及び備品

1	AC-1双対カマ型	1	28	耳鏡セット アンテナ付	6
2	入院用ケージ	1	29	眼鏡セット	1
3	体重計診療台	1	30	ウッド灯	1
4	手術台	1	31	尿比重計	1
5	動物全身麻酔装置	1	32	桌上タンパク比重計	1
6	心電図モニター	1	33	タンパク屈折計	1
7	レドックツル	1	34	ヘマトクリットリーダー	5
8	レドック地ツル	9	35	血球計算盤(3種類)	17
9	シャウカステン	1	36	黄疸指数計	2
10	グリット	1	37	聴診器(学生用)	20
11	プロテクターグローブ	2	38	聴診器(レドック)	2
12	プロテクターエプロン	1	39	上皿天秤	1
13	无影灯	1	40	電子天秤	1
14	保育器	1	41	骨格標本	1
15	内視鏡	1	42	模型(眼・耳)	3
16	自動高圧蒸気滅菌器	1	43	CPR DOG	1
17	ガス滅菌器		44	術衣・有窓布・無窓布	37
18	ガス滅菌器 カスト	1	45	ゲルシタ台	17
19	マシクワ遠心機	1	46	シンク	4
20	殺菌線消毒器	1	47	ハンドドライヤー	7
21	顕微鏡(モニター付)	1	48	スタンドドライヤー	3
22	顕微鏡	27	49	毛刈り用バリカン	6
23	スケラー	2	50	シーラー	1
24	輸液ポンプ	5	51	術衣棚	1
25	輸液ポンプ	5	52	器械戸棚	1
26	検眼鏡・耳鏡付	1	53	物置戸棚	1
27	喉頭鏡	1	54	備品戸棚・物品棚	8

表9：財務消費比較表（5ヵ年）

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
事業活動収入合計	241,705,353	300,600,042	354,835,486	382,215,233	402,090,496
基本金組入合計額	0	14,080,000	0	15,327,070	41,209,819
事業収入の部の合計	241,705,353	286,520,042	354,835,486	366,888,163	360,880,677
事業活動支出の部の合計	302,627,865	357,479,815	376,429,615	379,842,198	372,849,997
当年度収支差額	△ 60,839,869	△ 56,873,621	△ 13,053,818	△ 12,946,277	△ 13,313,925
前年度繰越収支差額	△ 512,443,345	△ 441,489,724	△ 428,435,906	△ 415,433,468	△ 402,119,543
基本金取崩額		△ 14,080,000			
翌年度消費収支超過額	△ 573,283,214	△ 512,443,345	△ 441,489,724	△ 428,379,745	△ 415,433,468
減価償却費	15,725,088	15,729,384	15,179,414	15,145,351	12,818,286
在籍者数（5月1日現在）	174名	207名	256名	275名	286名
教員数（本務・兼務）	29(12・17)名	28(11・17)名	28(11・17)名	28(11・17)名	28(12・16)名
定員に対する現員比較（％）	62.14%	73.93%	91.43%	98.21%	102.14%

自己評価に対する意見書

2025年5月31日

学校法人 川原学園
東京動物専門学校
学校長 北村 健一 様

静岡県富士市厚原 1527-5
獣医師 片井 信之

東京動物専門学校は、1990年千葉県知事より専修学校の許可を得て、東京動物専門学校としてスタートし、その後2014年には文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受け現在に至っており、開校35年を迎えます。2020年1月に新型コロナウイルス感染症が発生し、2023年までの3年間感染者数は増減を繰り返し、その都度関係当局よりの指導等により、学校は感染防止策を取り続けたようです。その間に全国区的な入学生は、関東近隣のみとなり、入学者数は減少し続け、2024年度では定員に対する現員比較は、62%に落ち込み戦略的な対策が求められた。

コロナは2023年5月2類より5類に格下げになり、予防対策も緩和され自主対応となり、ほぼコロナ前に戻った様相です。学校での対応も、マスクや検温といった対応も学生の自主性にまかせ、学校行事も平時にもどった開催となり、特に学校祭などではにぎわいをみせるようになりました。しかし、新型コロナウイルスが消滅したわけではありません。何時なるとき新たな新興感染症が発生するかもしれません。3年間の対応実績なども総括・整理し、今後の危機管理に備えていただきたい。

1. 教育活動

「職業実践課程」の一環としての「特別案内授業」は9年目を迎え、コロナの影響にての3年間は研修先の確保に苦慮したようですが、2023年度にはほとんどの園館で規制がなくなりました。そこで、この特別案内授業の開始時の上野動物園、多摩動物公園、葛西水族園の3園館で実施しました。専門講師1名が交代し、動物園や水族館の動物の知識や仕組み、展示施設など幅広く専門講師にて解説を受け、その成果は学生の終了後のアンケートから読み取ることが出来ます。今後2年間に学ぶべき方向性を身に付けたことでしょう。また単なる見学だけでなく、動物研究法等の授業との連携で、将来動物園などで実施しなければならない「解説板を作ろう」「キーパーズトークをやってみよう」など実践的な学習成果は一段と高まったものと思います。

また秋に実施している学外研修は、富士サファリと富士花鳥園を、翌日には静岡市立日本平動物園を、最終日には八景島シーパラを各班課題を持ちつつ、可能なら、卒業生からの直接講義や説明を受けたようです。入学時に3園館の特別案内と今回の施設見学との比較等にて、今後の進路には有意義な見学となったと思います。

また2年生は、例年通り10～11月にかけて1か月間の施設研修があり、以前はコロナ禍で研修先確保は困難だったようですが、コロナが収まった現在希望通りの研修先が見つかったようでよかったです。研修先施設からの評価表を見ますと、大半が良好な評価及びコメントをもらっており、また就職に結びついた学生もあり、施設研修の意義を感じます。

2. 学修成果

就職状況について、2024年度は98.7%であり、動物園水族館にも29名(前年47名)が就職しており、希望がかなえられた学生が多いと思われます。なお、就職分野別で見ますと、毎年変動が見られます。特に2024年度では酪農・畜産関係は10名(前年6名)、観光牧場等施設13名(前年7名)と大幅な増でした。ペット販売業6名(前年5名)、実験動物・研究施設は10名(前年9名)と人数は前年並みで、動物園・水族館の減少した分を補っている感じです。

懸念材料は、都立施設や地方の公立園でも採用条件としてまず契約社員等又はアルバイト契約であり、他の業界も同様な安定的なものではないことです。就職していく学生には、短期に離職しないよう、雇用条件等を丁寧に説明指導する必要を感じ、学校をお願いします。

また動物関連職種も、動物園・水族館に限定していない現状より、学習内容も選択制導入など今以上に多様化した業種に少しでも役立つような教育機会の増を期待します。

自主退学者の状況は、2024年度は前年に比べて退学者数、退学率とも大幅に減少しており、減少した事を分析し、今後活かして頂きたい。夢を抱いて東京動物専門学校を目指してきた学生です。途中で挫折せず、卒業できるよう指導等を今後とも宜しくをお願いします。

3. その他

現在の在學生は「ゆとり教育」以後の「脱ゆとり教育」を受けています。そして「Z世代」と呼ばれています。中学・高校時代に何らかのコロナの影響を受けています。その影響は、学校での団体行動や行事の自粛で社会的行動訓練の欠如といわれております。脱ゆとり世代とかZ世代の特性を理解し、コロナで受けた影響を考慮した教育が必要かと思われます。東京動物専門学校には、高校校長を経験した職員もおります。是非学校教職員、飼育場職員はもとより、出来れば非常勤職員を対象とした研修の機会を与えて頂ければ、学生の理解も深まると思います。

2025年度から東京動物専門学校は、選べる2コース制を取り入れ、「愛玩動物看護師」取得を目指すコースが新設されました。全国的にも新しい試みの動物専門学校です。将来は「動物園・水族館の飼育員が夢です」という学生はもとより、多種多様な動物分野に進める夢をもてる学生になれるような教育を目指していただきたい。

(以 上)